

韓国における「大学構造調整」政策と大学評価

日 時：2016年12月17日（土）9：15～11：30
場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京 2F 多目的室4
東京工業大学田町キャンパス（港区芝浦3-3-6）
アクセス：JR 田町駅徒歩1分
<http://www.cictokyo.jp/access.html>

次 第：**韓国における「大学構造調整」政策と大学評価**

尹 敬 勳 氏（流通経済大学 准教授）[博士（教育学）東京大学] [博士（学術）早稲田大学]

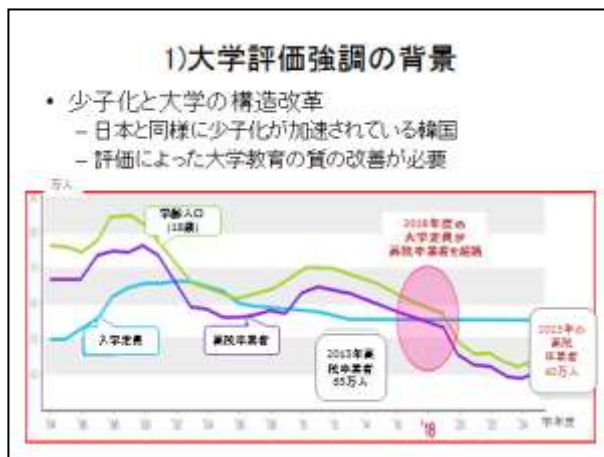
主要著作：『韓国の大学リストラと教育改革：韓国の「大学構造調整」政策の展開と課題』（Book&Hope、2013）など

（司会：渡部 昭男 [神戸大学／「漸進的無償化」科研・研究代表者]

趣 旨：

「漸進的無償化」科研では共同研究グループとして「アジア研究 G」を設けている。韓国に関しては、これまでに以下のような取り組みを行った。

- ① 2015 公開研究会(1)2015.8.9.@早稲田大学
浅野かおる（福島大学）：韓国の大学改革をめぐる動向——国立大学を中心に
- ② 第4回日韓シンポ 2016.1.23.@早稲田大学
テーマ：韓国の「国家奨学金制度（給付型・所得連動返還型）」から学ぶ
- ③ 2016 特別企画(1)2016.8.23.@北海道大学
宋善英（韓国大学教育協議会研究員 KCUE）：韓国の高等教育をめぐる動向と情勢——期成会費訴訟、国立大学会計制度、大学評価



宋善英 Song Sunyoung 女史は、韓国で「2018 年問題＝大学定員が高校卒業生を超過」（宋 2016 による図を参照）が迫っており、「大学構造調整」政策が国家主導で急がれていること、それとかわって「大学評価」の枠組みや実態を紹介した。韓国においては、(1)大学情報公開、(2)大学構造調整評価、(3)政府の財政支援事業のための評価、(4)大学による自己評価、(5)認定機関認証評価、(6)メディアによる大学評価、があるという。

今回の 2016 特別企画(2)では、特に「大学構造調整」政策と評価に焦点を絞り、政策導入の経緯・目的、大学評価の実際、その後の経過などをご報告いただく。

定 員：どなたでも参加できますが「先着 30 名」です（電子メールにてご一報ください）。参加費不要。

研究交流&情報交換会

日 時：当日の昼休み 会 場：未定（周辺の食堂／食事代は各自負担となります）
趣 旨：ユン先生を囲んで昼食をしながら研究交流・情報交換を行います。

基盤研究(B)一般 H27-29 課題番号 15H03474
略称「漸進的無償化」科研
研究代表者 渡部昭男(神戸大学大学院教授)
メール・アドレス akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp